

ひろげよう 自然保育のわ

ひろしま自然保育認証制度



子どもにとって自然体験は大切。だけど、保育者にとっては大変。そんな風に思っていますか？

広島県では、保育者がもっとのびのび、もっと自由に自然体験に取り組めるような環境をつくりたいと思いました。あなたも、

広島県の「自然保育のわ」に加わってみませんか。

ひろしま自然保育認証制度とは

日々の保育に自然体験活動を取り入れている団体を県が認証する、
広島県独自の制度です。

自然体験を、もっと自由に、もっと多様に、日々の保育に取り入れたいと願う保育者を応援したい—。
この制度は、子どもだけでなく保育者のための制度でもあります。
認証団体の活動の情報発信をはじめ、さまざまな取り組みを通じて、
保育者が今よりもっとのびのびと自由に自然体験活動ができる、
そんな保育環境をつくっていききたいと考えています。



■ 認証類型

I型 日々の保育において、**充実した**自然体験活動を実施
● 自然体験活動の時間が**10時間/週以上**
● 園庭以外の活動場所を確保
● 自然保育に関する研修を受けた保育者を配置 など

II型 日々の保育において、**積極的に**自然体験活動を実施
● 自然体験活動の時間が**5時間/週以上** など

幼稚園、保育所、認定こども園のほか、
認可外保育施設も認証の対象です。



認証団体の
活動は県HPで
情報発信
するよ!

■ 認証の流れ

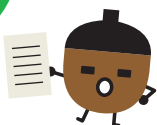
申請の方法

県HPから申請書を
ダウンロードして、県へ申請してください。

募集の時期

募集を開始する際は、県HPや各市町担当部局を通じてお知らせします。

申請書には
作成例も
用意しているから
参考にしてね!



■ 認証の基準

- 1 国の指針や要領を踏まえた保育内容
- 2 保育者の人数
- 3 屋外を中心とした自然体験活動の時間
- 4 自然体験活動を行う場所
- 5 子どもの安全確保
- 6 利用者の個人情報の保護
- 7 地域との連携
- 8 保育者の研修の実施
- 9 適切な運営体制(衛生面や健康管理など)
- 10 小学校との連携

それぞれの
基準の詳細は
広島県HPを
見てね!



詳しくは広島県のホームページへ!

ひろしま 自然保育

検索

\ CHECK! /

- 認証制度の詳細
- 認証団体の活動報告
- 認証団体一覧
- 各種イベントのご案内
- 認証制度の申請書(記載例)



認証団体を支援する制度

広島県は、認証した団体が積極的に自然体験活動を実施するための支援を行っています。

□ ひろしま自然保育推進事業補助金

人材育成などに要する経費を補助します。具体的には次のとおりです。

1. 自然保育の知識や技術、また、幼児の安全確保の向上を図ることを目的として開催される研修及び講習に参加する経費
2. 自然保育の知識や技術の向上を図ることを目的として認証団体が開催する研修などに要する経費

□ 研修実施

安全管理の知識・技術を習得するための研修の実施や、自然体験活動についての専門知識・ノウハウ・経験を有するアドバイザーを派遣しています。

□ 情報発信

県HP等で認証団体の活動を積極的に発信します。

気軽に
問い合わせね!



お問い合わせ



春

公園へ
おでかけ

レインコートで
散歩



雨の
日

自然保育って なに？

「豊かな自然環境や、地域資源の活用」
「子どもの状況に沿った支援と環境づくり」
「主体的、創造的な遊びを通じた直接的な体験」
ひろしま自然保育認証制度では、これらを大切に
した自然体験を少しずつでも取り入れている教育
や保育を「自然保育」と呼んでいます。

どこで何をして遊ぶのか、特別な場所や広大な敷
地が必要といった決まりはありません。園庭や近く
の公園、園舎の中だって、保育者の自由なアイデ
ア次第で自然保育はできるのです。



冬

ゆきあそび



生き物との
ふれあい

稲の収穫



秋

屋内

落ち葉を
あつめて



「認証団体」

って、どんなところ？



「広大な園庭や裏山があって、専門的な指導者がいる」

「毎日、一日中外で過ごしている」

認証団体のことをそんな風に思っていないか。

多くの団体では、限りある資源(人・場所・時間…)の中、
周囲の助けも借りながら、少しずつの工夫を重ねています。

ここでは、認証団体のそんな工夫を紹介します。



01

お散歩会議をしています。

お散歩や遠足は、安全管理のためいつも以上に保育者の人数が必要です。そのため、シフトを調整するお散歩会議を毎月行い、計画的に外出しています。

遊び場マップを
作りました。

02



近くの公園や田んぼなどをイラストで描いた『遊び場マップ』を保育者が作りました。「今日はどこで遊んだの?」と保護者と子どもの会話のきっかけになったり、「ここはこんなところに注意しないとね」と保育の安全管理の向上に役立ったりしています。

田植えや稲刈りを、
地域の方と一緒に。



03

田植えや稲刈りを手伝ったり、農協や地域の方から畑づくりや土づくりのコツを教わったりして、地域の方と協力しています。子どもだけでなく保育者にとっても勉強になり、地域とつながることで子どもたちの安全や保護者の安心感を生んでいます。

裏山を、
遊園地に。

04



地域の方や保護者と力を合わせて、使われていなかった裏山に道を作りました。ロープを使ったブランコやツリーハウスを作って、みんなで「ぼうけんのもり」「勇者の一本橋」などワクワクする名前をつけてマップにしました。すると、いつのまにか裏山が立派な遊園地になりました。

この山も、畑も、
自前のものではありません。

05



園に広い土地がないため、近所の山や畑を保育に使わせてもらえないか所有者に持ちかけ、使わせてもらえることになりました。今ではその山で遊んだり、借りた畑の一角で所有者の方と一緒に野菜を育てたりしています。

まずは園庭から。
まずは小さなことから。

06



保育者が「園庭係」として、園庭整備の中心を担っています。何のためなのか、何ができるかを考え、小さなことから始めていくうちに、次第に保育者同士で相談しあう雰囲気に。外部講師への相談や他園の視察を重ね、保護者の意見も聞きながら細く長く続けています。

保育者にとっても
学びの場。



07



保育者が、なんでも知っているわけではありません。虫の嫌いな人だっています。だから時々、山遊び、植物・昆虫などに詳しい人を園に招いて、子どもたちを自然の中へ案内してもらっています。保育者にとっても多くのことを学べるよい機会となっています。

interview

ひろしま自然保育認証制度で認証されている団体の中から、園長、保育者、保護者に自然保育についての疑問を聞いてみました。



教えて!!
先生!

Q なぜ自然保育を取り入れようと思いましたか?

自分たちの身近にある自然事象や、それらにまつわる道具などに触れることで、知的好奇心や想像力、洞察力を育み、この世界の多様性を感じ、しごとくたくましく育てほしいと願っているから。

自然の中で時間を気にせず遊べるのは小学校入学前だけだから。この時期に感性を育み、自然の摂理を肌で感じとってほしいと思います。

園の外で保育者や家族以外の大人と交流することで、視野が広がり人間関係の基礎を育むことができるから。

Q 自然保育の実施で気をつけていることはありますか?

どこまで手助けをするのか、どこまでなら子ども自身の行動に任せていいのか、子どもそれぞれの状況によって考えています。

年齢だけでなく、個性や成長スピードに合わせて場所や内容を設定し、注意事項や配慮点も状況に応じて変更しています。

子どもたちに目が届くように、保育者の配置を工夫しています。

子どもの異常にすぐ気づけるように、平日頃から保育者同士で情報共有を頻繁に行うようにしています。

Q 保護者の理解を深めるためにしていることは?

活動状況を園だより、ホームページ、facebook、ブログ、連絡ノートなどで保護者と共有しています。これを見て、家庭で親子の会話も広がるようです。

子どもたちが今こんな遊びに夢中になっているということ、言葉や写真で伝えるようにしています。

軽くてもケガをしたら、部位、経緯、処置をその日のうちに直接または電話で保護者に伝えるようにしています。

子どもたちの活動や自然保育への理解を深めてもらうために、保護者も一緒に遊べる機会を設けています。

Q ご自身に何か変化はありましたか?

初めは危険だと思っていましたが、小さなケガを繰り返すことで大きなケガを避け、人の痛みに寄り添える子どもになっていると思うようになりました。

保育者自身が自然の中にいることが楽しくなり、何が危険か判断できるようになることで、子どもの行動を待てる余裕ができたように感じます。

Q 子どもの成長が感じられるエピソードを教えてください。

服がひどく汚れたときに自分たちで洗ってみたところ、ご家族の方が大変な思いをして洗ってくれていたことに気づき、感謝の気持ちが芽生えたようです。

毒針のある毛虫を園の木で発見し、木を柵で囲い退治しようとしていると、周囲に鳥の糞があることに気づいた子どもたちが「鳥が食べにくるから、放っておいても大丈夫だよ」と止めてきました。数日後、毛虫は鳥に食べられました。自然の道理が分かっている子どもたちに教えられました。



いろいろ工夫されているね!





Q 自然保育で子どもの成長を感じることはありますか？

偏食が多い子でしたが、野菜や米づくりを通して「自分が植えた」「自分が育てた」食べ物という意識が芽生えて、好き嫌いが減りました。

自分でやってみる力、外で遊び、楽しむための知識や体力、好奇心がついたように思います。

集団行動をすることで、ほかの子の「いいところ」や「得意なこと」が見え、友だちを敬えるようになりました。

Q 自然保育に対して園に希望することは？

家庭ではできない、いろいろなことに子どもたちがチャレンジできる環境をつくり続けてほしいです。

自然保育の良さを園外にも発信して、一緒に自然活動できる親仲間や地域の輪を広げてほしいです。

自然保育の良さを実感するには親もやってみることが一番。親子で一緒に自然体験ができる定期的なイベントを設けてもらえると嬉しいです。

県内の多くの団体で自然活動が行われているよ!



Q 認証を受けようと思ったきっかけは？

子どもの成長により影響があるので、その良さを広島県内の保育園に知ってほしいから。

自然保育に必要な知識や情報が得やすくなり、日ごろの活動の視点が豊かになるから。

社会的認知が高まれば、保護者、園スタッフ、地域の方に自然保育の意義や園の方針を理解してもらいやすくなるから。

Q 認証を受けて変わったことは？

認証で受けられる補助金を自然保育の研修費として活用しています。保育士は知識が深まり、子どもは遊びの種類が増えました。

自然保育に関心がある大学生が多く、実践したい学生が就職を志望してくれるようになりました。

認証団体の横のつながりができました。情報交換をして他園の取り組みを自園に合わせて取り入れるなど、自然保育の幅が広がりました。

保護者との会話が弾み、理解を深めてくれる人が増えました。

教えて!!
ママ・パパ!

Q ケガへの不安はありませんか？

「何をすれば危険につながるか」「ルールを守ることの大切さ」などを最初しっかりと教えてくれているので、安心しています。

多少のケガも学びの一つだと思っています。

危ないことを察知する感覚を養える機会だと考えています。

Q 服の汚れなどで困ったことはありませんか？

ポケットに枯れ葉やどんぐりが大量に入っていることに、びっくりするくらいです。

あえていうなら、スカートやフリルがついた女の子らしい服が着られないことが残念です。

笑ってしまうほど汚して帰ってきますが、たくさん遊んだ証拠だと思って楽しんで洗濯しています。

教えて!!
認証制度!



みんなの活動がわかりやすく記録されているよ!



広島県のホームページに掲載されている各団体の活動報告書も要チェック!

! CHECK! |

